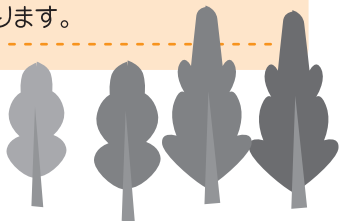


11月は児童虐待防止推進月間です

問 市 こども家庭相談室(山東庁舎こども家庭課内) ☎55-8123 FAX55-4040

児童虐待の根底には「育児不安」や「ストレス」があります

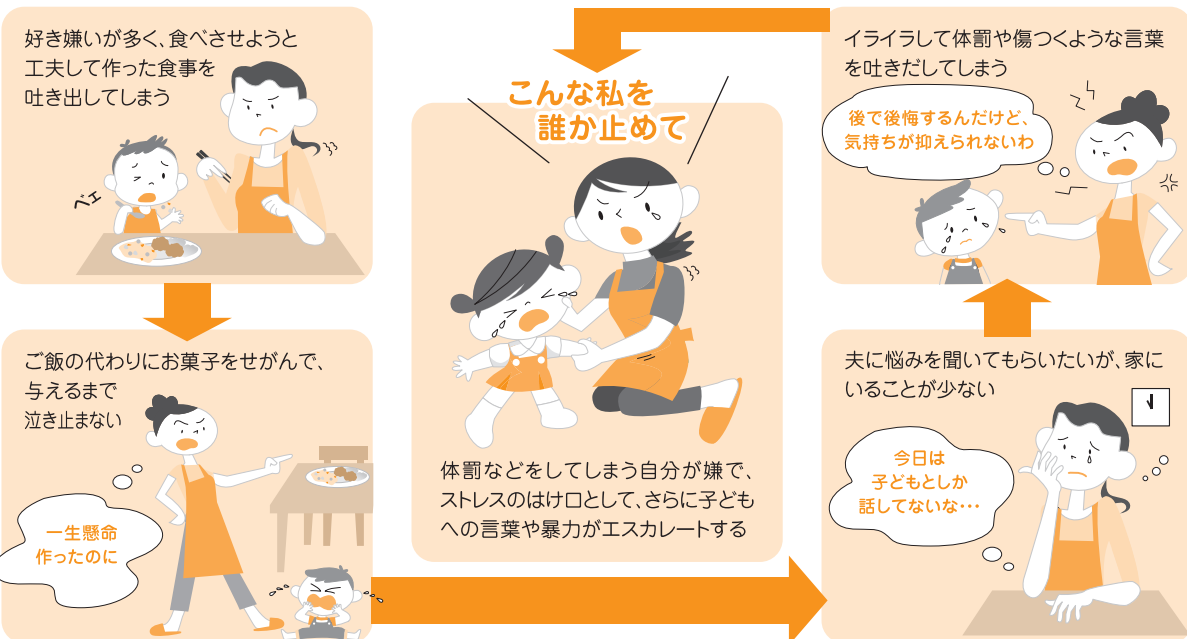
昔に比べ、家事や育児が楽になるような家電グッズが増えましたが、多くの親は乳幼児期の発達や性格、対人関係など、さまざまな不安や課題に悩んでいます。パートナーも、仕事が忙しいと子育てに参加できず、子育てをサポートする人がいない親は不安やストレスがたまり、そのはけ口が子どもに向けられることがあります。



ささいなことがきっかけで虐待は始まります



子育ての不安は、毎日の不安や心配が重なって生まれます。不安を抱えたままにしていると、ちょっとしたきっかけで虐待のスイッチが入ってしまうことがあります。また、親の価値観や教育方針から、よかれと思う気持ちがしつこくエスカレートさせてしまい、虐待を引き起こすこともあります。

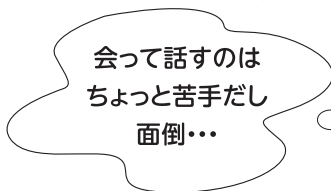


一人で悩まないで! あなたの気持ちをわかってくれる人たちがいます



子どものことや職場・家庭のトラブルからくるストレスや不安がもととなり、子どもを必要以上に叱ったり、たたいてしまうことがあります。まずは、心の苦しさを理解してくれる人に話すことが大切です。

地域には、あなたの話をしっかりと聞いてくれる人がいます。市の家庭相談員や保健師、保育士などに気持ちを話してみましょう。



自分の気持ちを話してみませんか?

子どもに虐待をしたと感じることがあり、続けてしまうのでは?

「ちょっと助けてほしい」と言えず、自分ですべてやらなければいけない気がする

子どもをかわいいと思えず、一緒にいるのがつらい

イライラすると子どもにひどいことを言ってしまう。親失格では?

自分の子どもが他の子どもよりできるようにすることが遅い。自分の育て方が悪いのかな?

一人で悩まず、地域の電話相談やホットラインを利用ください。

- 市 こども家庭相談室(山東庁舎こども家庭課内)
☎55-8123
- 子どもを守るホットライン(24時間対応)
☎077-562-8996
- 彦根子ども家庭相談センター
☎0749-24-3741

社会全体で虐待の発生予防、早期発見、早期対応が必要!
「もしかして、虐待かな」と疑わしい場合は、**すぐに連絡を!**
子育てが辛い、子育てに悩んでいる人も利用できます。

虐待かもと思ったら



※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料がかかります。



こんなときにはすぐお電話ください。



あの子、もしかしたら虐待を受けているのかしら...



子育てが辛くてつい子どもにあたってしまっ...



近くに子育てに悩んでいる人がいる...

児童虐待キャラバン隊からのオレンジリボンメッセージ

10月14日、子どもを虐待から守るオレンジリボンキャンペーンの一環として、滋賀県要保護児童対策地域協議会のキャラバン隊が市役所山東庁舎を訪れ、平尾市長にメッセージの伝達とオレンジリボンの贈呈を行いました。

このキャラバン隊は、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、虐待防止への関心を高めてもらおうと、民間・国、そして地方自治体が一体となり、児童虐待防止の広報・啓発活動などに取り組んでいます。メッセージを受け取った平尾市長は「未来の子どもたちの健全な育ちのために、市民一人ひとりが児童虐待を真剣に受け止めていきましょう」と述べました。

